

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1233号	氏名	西山 仁
論文審査担当者		主査教授	谷山 紘太郎
		副査教授	関根 一郎
		副査教授	江口 勝美
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 過敏性腸症候群の病因・病態として内臓知覚の感受性亢進が注目されていることから、慢性内臓過敏の病態モデルを用いて大腸の運動性を検討し、その運動性の異常のメカニズムについて明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ラットの慢性内臓過敏病態モデルを作製して、セロトニン受容体の作動薬や拮抗薬の適用下などで、直腸内刺激による行動変化や、ストレス負荷による大腸輸送能、大腸通過時間、排便量などを測定したもので、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 慢性内臓過敏状態では大腸運動はストレスの影響を受けやすく、そのメカニズムとして末梢レベルでのセロトニン5-HT₃受容体システムの過敏状態が一つの原因であることを、過敏性腸症候群を想定した病態モデルから解析したもので、高く評価できる。</p> <p>以上のように本論文は、過敏性腸症候群の病因・病態の解析に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			